

名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT No.1212

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

<本年度会長方針>

リノベーション renovation

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 木村 光徳 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 渡辺 観永 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL <http://www.nagoya-osu.org> E-mail office@nagoya-osu.org

第1423回例会

ロータリーを
実践するための準備月間
平成25年7月4日(木)
於 名古屋東急ホテル
出席計算数 55名中47名出席
出席率 85・45%
前々回出席率 93・22%
会員 63名

例年プログラム

- ★新旧会長・幹事バッジ交換
- ★誕生日のお祝い
- ★近藤親睦活動委員長
・第1回親睦夜間例会案内
- ★岡村クラブ奉仕委員長
・卓話についてのお祝い
- ★前田30周年実行副委員長
・OSU山桜フィールド案内
- ★会長・幹事所見

ロータリーソング

「君が代」「四つのテスト」
指揮者 前田 隆久
ピアノ伴奏 富板 玲子

ニコソックス

楽しいロータリーライフの為に。
木村 光徳
本日より30周年年度が始まります。
至りませんが、よろしくお願
いたします。
木村会長、渡辺幹事、今年一年
楽しんで下さい。 鬼頭 茂成
木村さん、ありがうございま

た。
藤田 澈
木村会長、渡辺幹事、1年間よろ
しくお願いたします。 岡村 隆徳
前田 隆久・柴岡 正将
吉田 明夫・高木 政義
吉田しおり・堀江 英弥
大原 敏正・伊藤 与則
青木 靖高・田崎 雅三
酒井 修・杉本 英夫
草野 勝彦・佐々木 功
春口井和良
今年度もどうぞよろしくお願い
します。 横井 衛
林 順治・杉浦 令淑
新年度です!!よろしく!!
浅野 彰

リスボンでの国際大会に行ってい
ました。約110ヶ国の紹介の最
後に日本が「君が代」斉唱で迎
えられました。感動的でした。
吉田 隆彦
一年間S.A.Aです。山口さんと
頑張ります。よろしくお願いしま
す。 岩崎 征一
皆勤賞のお米を有難うございま
す。 小野 定男
誕生日です。結婚記念月です。
吉田 憲一

会長挨拶

会長 木村 光徳

新旧会長・幹事バッジ交換



鬼頭茂成直前会長、岡村隆徳元幹事、
12-13年度おつかれさまでした。

会長所見

会長 木村 光徳

今年度の会長方針は「リノベ
ーション」とさせて頂きました。
一般の方にはあまり、なじみが
ない単語だと思いますが、建設業
界では、よく使われています。古
くなった建築物を新たな付加価値
を付けて再生させるという意味で
す。

我々名古屋大須RCは今年創立

30周年を迎えます。その間にメン
バー構成及びその数として時代背
景も大きく変化している中で、毎
年活発に活動し、外部からは活性
化したクラブであるとの評価も受
けています。

しかし、一方で組織・運営・事
業・活動方法・予算配分が固定化
され、継続事業も少なからずとい
うのが現状だと感じています。こ
んな状況の中でもモチベーション
の高いメンバーが新しい事業にチ
ヤレンジし、その評価が高くと、
それが又継続事業に加わる事にな
り、メンバー役務の過重やマンネ
リ化により、本来楽しむべきロー
タリーライフが、重荷になってし
まう事も危惧しています。

そして何よりも組織が10年・50
年のスパンで活力を維持してい
く為には、現在と将来を見据えての
「CHANGE」が必要だとい
う事には、大多数の賛同が頂けるの
ではないでしょうか。

名古屋大須RCが更に魅力の有
るクラブになる為に、30周年のこ
の機会に全てのものを一度白紙の
状態に戻し、再スタートする事を
提案させて頂きます。もちろん全
ての継続事業や運営方法を無条件
で廃止するという事ではなく、そ
の歴史・目的・効果等を十分に検
証し、継続するか、新しい手法・
事業に取り組むかを決めて頂けれ
ばと考えています。

次に各委員長の皆様方には、事業や運営方法を考える時に従来の慣例や細かいルールに捉われ過ぎる事がなく常に会員や家族として奉仕先に楽しみ・喜びを感じてもらおうとの「サービスマインド」を持って活動して下さいます様お願い致します。

最後に30周年記念事業と我々大須RCのメンバーが実行委員長として地元で開催される第19回全日本RC親睦大会に全員が参画し、楽しんで頂く事が出来れば、新たな10周年に向けての第一歩として、意義のある1年になるのではないでしようか。

幹事所見
幹事 渡辺 観永



入会して10年になります。自慢ではないですが、入会するときに、ロータリーとはなにかとおぼろげに教えてもらっていました。それは二人の友人によってです。二人ともロータリアンではありません。

一人はアジアからの留学生で大変な苦労をして、勉強をいたしました。文字通り、その日の米にも困ることが一度や二度ではなく食事をお届けすることも少なからずありました。その彼が、ある日奨学金をもらえなくなったことと笑顔でいいます。聞けば、ロータリークラブの試験に通ったことが、精神的な支えができたこと例えに出席する行き帰りには、家に寄ってくれました。あるときは民族衣装で、あるときは背広で、常に笑顔でした。博士号も無事に取り、帰国後も順調な道のりを歩いています。

もう一人は、日本人の大学生です。彼女は私の友人の妹さんで、ドイツ語も堪能、素晴らしい素質を持っていました。あるとき、お母さんからロータリーの支援で留学することになったと聞きました。ああやはりなるほど、と感じていたのでしたが、そのまま、現地を伴侶を得、現在もオーストラリアで学生生活を続けています。結婚式のめまろしさや、娘さんに引張られてのお母さんの活躍など、広がる世界は聞いて笑顔をこぼれるばかりでした。先月お父さんがお亡くなりになり、急遽帰国した彼女に、久しぶりに会いましたが、その笑顔は学生の時のままでした。

お二人とも、ロータリーに出会い、人生を大きく転回し、各地で活動を重ねています。実はまったく偶然ですが、支援したロータリーは名古屋大須ロータリークラブでした。彼等を面接した先輩方は、10年後、20年後の彼等の人生がこのようになるとわかっていたのでしょいか？勿論、ご存じだったと思います。ロータリーの門は、誰でもくぐれるものではありません。しかし心を定めて、目指して歩いてきたものには、扉が大きく開かれます。

今年、私たちのクラブは30周年を迎えます。この記念すべき年に、大須の子供達のまなざしを軸に、愛知の里山を更に豊かにするための整備活動と、ネパールの子供達のための環境改善活動を展開します。これらの事業はいずれも、今年、来年、急に結果が出るものではありません。しかし未来に続く種をまく、とても貴い行いです。そしてそれは10年後、20年後、どのような大きな笑顔を開いてくれるか、とても楽しみではありませんか。未来の為に、今日を生きる。人生でなかなかそのような醍醐味は味わえません。

昨年度受入青少年交換学生、ケイリーがクラスメイトへあてた直筆メッセージ (淑徳高校「Ⅲ-5通信」より)

みんな、
十ヶ月間は本当に楽しかったが私は日本語が全然分りませんでした。
いつもみんなに質問をしました。みんなは忍耐を持って、説明してくれました。
サプライズパーティーは本当に楽しかったぞ!! これは私の初めてのサプライズパーティーぞ!!
「ブラックサンダー」をくれてありがとう!!「ワニ」も「ブラックサンダー」は世界で一番おいしいおかしだと思ひます。たくさんくれたの嬉しいぞ!! 十分分ります!!
①「アメリカ」ホームステルだったの高校の卒業式がありませんでした。前、日本で卒業したいと思ひました。夢がかないました。
見事な映画とアルバム本当にありがとう!! 頑張ってください。私はとても喜びました。
胸一杯の英語でも感情を言うことができません。
みんなのおかげで色々な経験ができていい思い出になりました。本当にお世話になりました。ありがとう!! 大好きだ!!
② ③
アメリカに帰りたくないぞ!! 帰らなくね!!
私を忘れないで!! たんぱん連絡ね!!
I love you all so much!!! 元気にね!!
Forever In My Heart

7月18日(木)例会の案内
委員長所見
社会奉仕委員長 丹下 富博さん
国際奉仕委員長 柴崎 正博さん

30周年実行委員長 堀江 英弥さん
広報委員会
小澤 幸男・青木 靖高
飯田 昭夫・杉浦 令淑
*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。